

乳がんは早期発見が大切です

5月12日から、本年度の乳がん検診が始まりました。乳がんは女性に多いがんの一つですが、早期に発見することができれば治療の選択肢が増え、経過が良くなる可能性が高まります。検診の対象の人は、ぜひこの機会に受診しましょう。

■対象

令和9年3月31日時点で40歳以上の女性(令和7年度に未受診の人)

■検査内容

マンモグラフィ(乳房のレントゲン撮影)を行います。乳房を薄い板で挟んで撮影し、しこりや石灰化(小さなカルシウムの塊)などの異常を早期に見つけるのに有効です。

※40歳代の方は、超音波検査(エコー)も実施します

■受診時の痛みを和らげるポイント

- ・月経前で乳房が張っている時期は避ける
- ・肩の力を抜いてリラックスする

■症状があるときは、すぐに病院へ

しこり、くぼみ、乳頭からの分泌など症状がある人は、早めに乳腺外科などの医療機関を受診してください。

【問い合わせ】健康づくり課(☎41-3614)

通信販売トラブルに注意!  
■どんなトラブルがあるの?  
○ネット広告で見たサプリを1回だけのお試しのつもりで申し込んだら、2回目が届いたため、受け取りを拒否した。後日、請求書が届き、それを放置していたら法律事務所から通知が届いた

■注意することは?  
○初回が低価格の商品の注文は、定期購入になっている場合があり、受け取りを拒否しても解約にはなりません。購入する前に、最終確認画面で定期購入になっているか必ず確認しましょう。また、最終確認画面をスクリーンショットしておくことも有効です

■困ったときは?  
○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

使えなかった。そのため、クーリング・オフしたいと連絡したが断られた

○テレビショッピングは通信販売に当たするため、訪問販売や電話勧誘販売とは異なり、クーリング・オフは適用されません。返品・解約の条件は、販売者が決めた返品特約に基づきます。また、未開封に限られる、期限があるなど条件が付くことも多いため、購入前によく確認しましょう

市民生活コーナー

はなまき 第28回  
環境だより

水生生物調査で知ろう  
身近な環境

水生生物調査は、川に生息する生き物を採集しその種類を調べることで、身近な川の水質(水の汚れの程度)を判定する調査です。毎年全国で実施されており、市内でも、小中学校や地域の団体が身近な川の調査に取り組んでいます。

調査では、アメリカザリガニなど身近な生き物から、ナミウズムシやヘビトンボといったなじみの薄い生き物まで、29種類が指標生物となります。調査する川にどの指標生物がどれくらい生息しているのかを調べ、川の水の汚れの程度がレベル1の「とてもきれいな水」から、レベル4の「とても汚い水」まで、



▲水生生物調査の様子

どのレベルなのか分かるようになっていきます。大きな川だけではなく、田んぼ脇の小さな水路なども調べることで、身近な環境について知ることができます。

調査に参加した小学生からは「川にこんなに虫がいるなんて知らなかった」「水を汚す行動をしないよう気を付けたい」などの声が寄せられています。水生生物調査を通じて、身近な川の環境や生物の多様性について考えてみませんか。

※本年度の水生生物調査の内容については、広報はなまきや市ホームページでお知らせします



【問い合わせ】本館生活環境課(☎41-3543)

市内企業紹介  
花まき❖いいモノ・いいコト  
株式会社 WAKU  
◎企業情報  
二枚橋5-6-3  
花巻市起業化支援センター工場棟A-3



①花巻で製造している「WAKUFUL」。作物のストレス耐性を高め健全な生育を支えるための資材として期待されています②入居する花巻市起業化支援センター工場棟③(株)WAKU執行役員C F Oの中村優太さん

本年1月に起業化支援センターに入居した株式会社WAKUは「グルタチオンで人間の食を守る」を理念に掲げ、農業の新しい可能性に挑戦するスタートアップ企業です。グルタチオンとは、人や植物の体内にも存在するアミノ酸由来の成分で、抗酸化作用を持つ物質として知られています。

同社では、このグルタチオンの働きに着目し、植物の健全な生育を促す液状バイオスティミュラント(生物刺激剤)である「WAKUFUL(ワクフル)」を開発。植物にとって肥料が食事、農業が薬だとすると、その中間のサプリメントのような役割を担います。野菜や果樹、水稻など幅広い作物で活用でき、全国各地で行ったWAKUFULの実証実験では、作物の品質が改善したり、収量が向上したりするという結果が出ています。

花巻を拠点に全国へ、農業の課題解決に向けた取り組みを続けています。

\*市ホームページでは、より詳しい情報を掲載しています



いいコト発見!  
地域おこし協力隊

花巻での暮らしについて情報発信を始めました  
-ブドウ栽培技術の継承と

地域活性化担当 渡邊昌敬-

大迫へ移住して3年目を迎えました。今年は、農業におけるビジネス的な視点を学びながら、引き続きブドウの栽培技術の習得に励むほか、農業散布事業にも継続して取り組んでいきます。

先日、地域おこし協力隊員同士で語り合う機会があり、ブドウやワインそのものだけでなく、それらが日常にあるということも大迫の大きな魅力であるという意見が出ました。こうした思いを形にする取り組みとして、ブドウ畑の中で地元の

食べ物や飲み物を楽しむ「葡萄が丘ワインヒルズ in Spring」を5月2日に、協力隊有志と開催しました。今後も、このようなブドウの産地ならではの企画を通じて、大迫の魅力を市外へ広く発信していきたいです。

また、個人の活動としてYouTubeチャンネル「秘密結社おおはさまぶどう団」を開設し、大迫での移住生活の様子や、地域おこし協力隊としての活動の様子などを動画で配信しています。地域の皆さんから学んだことや、これまでの活動を通して感じたことを記録しながら、大迫だけではなく花巻市の魅力発信にもつなげていきたいと考えていますので、これからも引き続き応援をよろしく願いします。



▲「秘密結社おおはさまぶどう団」のロゴマーク